

平成 27 年度「スラブ・ユーラシア地域(旧ソ連・東欧)を中心とした総合的研究
共同利用・共同研究
「共同利用型」の個人による研究・成果報告書
研究課題「経済体制移行下におけるシベリア・極東農村の変貌」

野部 公一

[申請内容]

ロシア農業は、全体としての農業生産高をとれば、1999年以降、基本的に回復基調で推移している。しかし、個々の地方においては、農業組織(農業企業)の崩壊が雇用機会の喪失と社会インフラの崩壊を導いた結果、多くの集落が消え去っている。この傾向は、大都市や州都等から離れた周辺地域において顕著であり、その実態を把握することは、ロシア農業をトータルに考えるうえで極めて重要な課題であると思われる。本研究は、シベリアおよび極東の農村を対象として、農村の実態、経済体制の移行が農村にもたらした様々な影響を地方刊行の文献資料をもちいて、明らかにする。

[利用内容]

申請者は、2015年の7月末から9月上旬および2015年12月末から2016年1月初頭にかけて、センター図書室、附属図書館、農学部図書室を利用した。センター図書室および附属図書館においては、「Регион:экономика и социология」および«ЭКО»を利用した。いずれも、最新号から閲覧を始め、1991年まで逆上の形で資料を確認した。また、附属図書館スラブコレクションに所蔵されている主にノヴォシビルスクで出版されたシベリア農業・農村に関する書籍を閲覧した。とりわけ、Аграрные преобразования и сельское хозяйство Сибири в XX веке : очерки истории, Ин-т истории СО РАН, Новосибирск, 2008 は、歴史的視野の中に市場経済への移行を位置づけたものであり、大変重要な示唆をうることができた。

[成果]

申請者は、閲覧・収集した資料を利用して、「分化進むロシア農村一周辺集落の消失」を『専修大学経済学論集』第50巻第3号(2016年3月)に公表した。なお、今回収集した資料をもとにして、市場経済移行が農村(とりわけシベリアおよび極東)に与えた変化を考察する別稿の執筆を予定している。